

# 青少協だより

「中学生地域交流推進事業」が残したもの

熊本市立託麻中学校

教諭 田邊隆広

今年度の中学生地域交流推進事業では、前年度までの意見発表に加え、託麻中学校生徒会の取り組みの発表があった。ペットボトルキヤップを集め、それをワクチンに換える取り組みで、半年程度の間に多くの生徒が持ち寄り三六〇〇〇個、約四十五人分となつた。これは、今年度の中学生地域交流推進事業実行委員長である下川田迎校区青少協会長からの提案されたものである。

この活動をとおして、ある言葉を思い出した。「不立文字教外別伝」という言葉である。禅宗の教義を表す言葉で、「言葉による教義の伝達のほかに、体験によって伝えるものこそ真髓である。」という意味だ。その為、禅宗では「只管打坐」の言葉どおり、座禅を行う。

学校では様々な場面を通して、人の為に何かを為すことや自然保護の大切などを生徒たちに話している。その話を体験・実践する場として今回下川会長の提案は、素晴らしいものであり、真髓に迫るものであつたように思う。

このペットボトルキヤップ集めの活動は、新生徒会に引き継がれ、職員室前の廊下には専用の箱が設けられている。そして、時折生徒がビニール袋にキヤップを詰め、その箱に入っている。今、一五〇〇〇個、約十八人分のワクチンに換えられる量が集まっている。

2011年4月

田迎校区

青少年健全育成協議会

発行

## 朝の挨拶運動風景



立ち止まって、礼



東北関東大震災の  
募金にご協力お願い  
致しま～す！



ペットボトルの  
キャップがワクチン  
に！（回収箱）

